

心理学専修

子どもたちの心理的な特徴を考慮して、
児童・生徒の成長を促すことができる教員を養成します。

◆学びのポイント

1
様々な心理学に関する科目を通して、
児童・生徒の心理的特徴に関する知識を学ぶ

児童期・青年期の心理的な特徴を理解した上で、教員は子どもに接する必要があります。多様な領域の心理学を学習し、児童・生徒への実践的な対応能力の土台を形成します。



2
心理学検査、
心理学実験等の
科目を通して、
個人差理解の姿勢を学ぶ

教員は、個々の子どもたちの特徴を知る必要があります。豊富な実験や演習の授業を通して、個人差を理解するための姿勢を育成します。

3
心理学研究法等の
科目を通して、
心理を客観的に把握する
技能を学ぶ

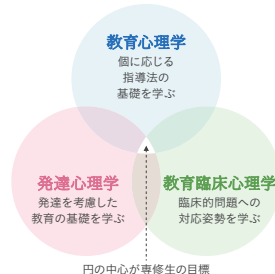
子どもの心理は、客観的に理解できるようにしなければなりません。統計的な分析、人の行動を捉える方法を学ぶことを通して、心理を客観的にとらえる姿勢を習得します。



◆学びの領域

心理学を背景とした 学びの領域

教育、発達、教育臨床という3領域の学びによって、児童・生徒への実践的な対応能力の土台が形成され、心理学的視点を背景とした指導力が生まれてきます。



心理学専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

| | MON | TUE | WED | THU | FRI | 集中講義 |
|--------|-----------|----------|-----|-----------|---------|--------------|
| 1・2時限 | 認知発達特講 | | | 教育実習事前指導 | | 視覚障害児の教育I |
| 3・4時限 | 学校教育相談特講 | 初等教科実践指導 | | 教育実習事前指導 | | 重複障害教育の理論と実践 |
| 5・6時限 | | 心理学研究法 | | | | |
| 7・8時限 | 肢体不自由教育方法 | | | | 知的障害の医学 | |
| 9・10時限 | | | | 教育臨床心理学特講 | | |



心理学研究法

心理統計の基礎知識及びデータ分析の専門的スキルを学習します。そのために、個々にパソコンを使用し、データに対するソフトウェアの方法を実習します。



教育臨床心理学特講

心の健康や、子どもと教師の対人関係などについて学びます。そして、教育に関する問題に対して、多様な視点から考察する力を身につけます。



認知発達特講

専門書の講義を通して、認知発達に関する心理学の視点や知見を理解し、その理解に基づいて教育や発達支援について考えます。

Student's Voice 在学生の声

「子どもの心に寄り添う教員に」



心理学専修4回生
田島 彩美さん
(私立関西大学
第一高等学校出身)

心理学と聞いて、「心理テスト」や「メンタリスト」などを思い浮かべる方がいるかもしれません。心理学とは、「心の科学」を意味しています。それは、人々が何かを感じて行動することや、意識していなくても無意識的に働いている心に寄り添うような学問です。奈良教育大学の心理学専修では、教育についての学びをはじめとし、子どもの気持ちや状況を捉えられるように、講義で基礎を学び、実験や心理学の検査を通して実践的に学びを深めています。また、个性的で、子どものことが大好きな教員を目指している学生が多いです。子どもと心をつなげる教員を目指したい方は、ぜひ、心理学専修へ！

主な開講科目

心理学概論/心理学検査・II/教育心理学特講・演習
認知発達特講/認知発達演習/教育臨床心理学特講・演習
人間環境心理学/心理学実験/心理学研究法

取得できる免許状

小学校教諭一種 等(P.6,7取得できる免許状・資格)のページ参照)

卒業後の主な進路

小学校・中学校教諭が主な進路です。過去3年間では、卒業生の半数以上が全国の公立小学校に勤務しています。その他、大学院に進んで心理学の専門職(心理判定員等)をめざす卒業生もいます。

教員および専門分野(令和元年5月1日現在)

- ・豊田 弘司教授/教育心理学
記憶・学習に関する実験的研究及び対人関係の調査的研究
- ・出口 拓彦准教授/教育臨床心理学
対人関係、規範意識、適応、学級集団等に関する研究
- ・中山 留美子准教授/発達心理学
人格・自己の発達に関する調査的研究
- ・市来 百合子教授/臨床心理学
心理臨床における非言語的なアプローチに関する研究
- ・石井 僚特任准教授/教授学習心理学
青年期の学習場面を中心とした適応に関する研究